

「すかしゆりは今日も上を向く」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

○ 何はともあれ、1学期お疲れさまでした

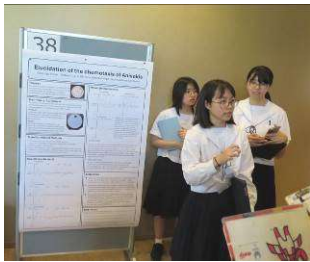
新たな花が部屋を訪れました。黄色と紫色が鮮やかな対照を描いていて目を奪われます。『グラジオラス、すかしゆり、スターチスの3種をつかって、夏らしい花を生けました。涼しさを感じていただけたらと思います』とのメッセージが添えられています。

僅か2週間ほど前は梅雨真っ盛りで、時候の挨拶も私は「長雨の候」としていましたが、一転、梅雨が空け、蒸し暑い日々が続きます。そんななか涼しさをありがとうございます。

先日は朝の登校時に女子生徒に話しかけられました。「神戸高校はどうして1学期が終わるギリギリまで午後も授業をするんですか？」と。確かにそんな学校ばかりではないですね。実に神戸高校らしい光景とも言えます。だから「まあ、生徒も先生方もみんなで修行をしましょうっていう文化かな…」と笑って返しておきました。生徒の皆さん以上に、大人達にもこの暑さは堪えますからね。

それにしても慌ただしい学期末でした。過日の第12回となる「Science Conference in Hyogo」には全県から40近いグループが神戸大学に集まっていました。それぞれの探究活動の成果を英語で発表したのち、ギャラリーからの英語による質問を受け、英語で返答するというハードルの高い大会。

本校からも3班が出場していましたが、その中に早くも2年生の顔がちらちら見られたのは、実に頼もしかったですね。



その2日後には校内で2年生総合理学科の課題研究プログレスレポート。研究成果を発表する「はじめての一步」ですね。これから大きな舞台をいくつも経験し、どれだけ大きくなるか楽しみです。世の中には羨ましいことにハナからこういったことを難なくやり遂げる人はいます。持って生まれたものか、隠れた努力の賜物か。実のところ、そこは表面には見えません。才能も努力も多くは水面下の世界ですから。それでも、そこから皆さんは成長していきますよね。真摯な姿勢で。くわえて、皆さんにはもうひとつの顔があります。



3日間に渡った体育週間はそれぞれのクラスTシャツが青空の下に映えました。そして、生徒指導部の先生方とともに全力のラジオ体操を見せてくれました。だからこそ私は終業式の際、記念式典で『サリマライズ』を歌う皆さんと、文化祭のフィナーレでクラスTシャツをかぶり、私に向かって満面の笑みで両手を振る皆さんの映像を流し、こう伝えることにしたのです。

『いろんな顔をもつ人は魅力的です。5月の130周年記念式典、皆さんの全力の歌声と、そして「神戸高校の歴史の糸を大切に繋ぐとともに、この世界に自分ならではの釘を打ち付けてやろうと全力で生きる、そんな先輩方の思い、繋いでくれますか」との僕の問いかけに、全力で「はい」と力強く返事をしてくれた皆さんの真摯な姿は、多くの来賓の方から「すごい集団ですね」と褒めてもらいました。

でも、皆さんが備えているのは真摯な姿だけではありません。文化祭のフィナーレでの溢れんばかりの笑顔も皆さんの武器です。幅の広さを持つ人は徹底的に魅力的です。どうかこの夏を「自分の幅をより広げる夏」にしてみてくださいね。』

9月1日、お互いに今よりも魅力的になって、お会いできますように。

